

2月6日：VN 指数は上昇を維持 (VN-Index +0.20%)

- VN 指数は引き続き銀行セクターが相場を支えたことから上昇して取引を開始し、金融や不動産セクターも上昇を支えた。
- しかし、上記の支えが上昇幅を縮小させるのにつられて弱含みの兆候が表れ始め、VCB (-0.56%) や VHM (-0.61%) などといった一部銘柄は下落に転じた。
- こうして指数は後退したものの、比較的安定した値動きで推移した。
- 市場流動性の悪化により、後場は徐々に下落し投資家からは慎重な見方が広がった。一時は前日比で下落したものの、すぐに反発しプラスで引けた。
- 244 銘柄が上昇、212 銘柄が下落、107 銘柄が変わらずと、依然として買い方が優勢だった。
- 流動性は大幅に低下し、23.6%減の 14.6 兆ドンとなった。

VN30 指数は静かな値動き (VN-30 +0.15%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、20 銘柄が上昇し、9 銘柄が下落、1 銘柄が変わらずとなった。
- CTG (+1.47%)、HDB (+1.55%) といった銀行株が再び好調だった。
- 一方、SHB (-1.70%) や MWG (-0.84%) はそれを打ち消した。

セクター・個別株の動き

- HAH (+1.76%)、VSC (+1.58%)、VOS (+1.27%) を中心とした物流セクターは、紅海紛争による海上運賃高騰の恩恵を引き続き受けた。
- STK (+0.36%) は自己株式の最低売却価格を、現在の市場価格より 33%以上低い 1 株当たり 18,300 ドンに設定した。
- 外国人投資家は前場の買い越しを帳消しにし、本日は 4,100 億ドンの売り越しとなった。VHM (-0.61%) が最も売り越された銘柄となった。一方、買い越し銘柄は複数銘柄に分散していた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。